年少者向け初期日本語学習用動画教材【解説】

1 開発の経緯

本動画教材は，日本語指導が必要な児童生徒が，日本の学校生活に少しでも早く適応し，教科学習に参加できるよう，初期の日本語学習，特に「サバイバル日本語」の学習を助ける目的で開発しました。動画は，1 本が 3～5 分程度のシナリオ動画と，2～4 分程度の語彙学習動画，各 24 本から構成されています。シナリオ動画は，日本にやってきて間もない児童である「さぽたん」と「ひろりん」が，学校のさまざまな場面で先生やクラスメートとコミュニケーションをとる様子を，アニメーションを交え描いた動画教材です。語彙学習動画は，基礎的な語彙をイラストとともに学べる動画教材です。

(1) なぜ動画か

2020 年の初め頃から続く新型コロナウィルス感染症は，日本語指導が必要な児童生徒にとっても，指導を受ける機会が損なわれることで，日本語習得の遅れ，ひいては教科学習の遅れを生じさせています。Zoom などのオンライン指導も行われてはいますが，その多くは同期型の指導であり，子ども一人でも学べる教材はなかなか見当たりません。また，特に初期指導においては，日本語でやりとりできる言葉が制限される分，それをサポートする言葉以外の情報が重要になりますが，Zoom 等では限界があります。対面であっても，そのような指導は教師のスキルが要求される上に準備負担も小さくありません。

教材としての動画は，1)現実場面を再現しやすく目を引きやすい，2)視覚・聴覚両面からのインプットが可能，3)デバイスとインターネットさえあれば，どこにいても繰り返し手軽に視聴できる，といった利点が挙げられます。そのため動画は，オンライン指導はもちろん，対面指導でも活用できる上に，一人での学習にも用いやすい教材といえます。児童生徒向けの日本語学習教材は，近年少しずつその種類が増えてきたとはいえ，まだまだ充実しているとはいえない状況です。特に動画教材は，ごく初歩的な語彙が学べる動画が散見される程度で，ほとんど作られていないのが現状です。

(2) なぜ「サバイバル日本語」か

「サバイバル日本語」について，文部科学省『外国人児童生徒受入れの手引（改訂版）』p.27 では，こう説明されています。

> 来日直後の児童生徒は，言語はもちろん文化・習慣の違いから生活のあらゆる場面で，困難に直面します。日本の学校生活や社会生活について必要な知識，そこで日本語を使って行動する力を付けることが目的のプログラムです。挨拶の言葉や具体的な場面で使う日本語表現を学習することが主な活動になります。

その目的を言い換えれば，日本語がまったくわからない状態で学校にやってきた子どもが，健康や安全，人間関係に関わる問題に対処するため，日本語でコミュニケーションをとり，行動できるようになることです。

子どもは，特に 9～10 歳頃までであれば，1～2 年学校で過ごすだけで，日常会話ならある程度自然に身につけてしまいます。ですが，それだけだと身につくまでに時間がかかりすぎるという問題があります。日本に来たばかりの児童生徒は，教科の授業に参加できず，周りの児童生徒とも十分にコミュニケーションがとれない状態が続くので，その期間を乗り越えるために，初期指導段階の日本語はできるだけ短期間で身につける必要があります。

さらに，日常会話の日本語であっても，子どもが自然に身につけるにまかせていると，普段の生活で接することのない日本語は身につかないままです。例えば，家庭生活でよく使われるような日本語であれば，家庭では日本語を使わない子どもの場合，身につける機会に乏しいということになります（例えば「ごはんをたく」「掃除機をかける」など）。こういったことから，初期指導段階の日本語だからこそ，自然に身につけるにまかせるのではなく，短期間でしっかりと必要な日本語を身につけ，その後の日本語学習の土台を築く必要があります。

2 シナリオ動画

(1) 内容

子どもに日本語を教える上で気をつける必要があるのは，言葉を直接説明して教えることはなるべくしないほうがよいという点です。子どもは発達段階からして，まだ物事を客観視したり，抽象化したりする力をあまり身につけていないので，言葉の意味を説明して理解させようとしても，なかなか理解にはなかなか結びつきません。母語に翻訳して教える方法も，子どもには不向きです。

一方で，子どもは大人と違い，その言語が使われている環境に身をおけば，みるみる言葉を身につけていきます。それは子どもが，知らない言葉であったとしても，それ以外の見て／聞いてわかるものをヒントにして，知らない言葉の意味を直感で推測し，自分のものにしてしまうことに長けているためです。見て／聞いてわかるものとは例えば，既に知っている言葉だけでなく，場面や相手の動作，表情，声の調子といった，その場から読み取れるあらゆる情報を指します。意味を推測した言葉は，その後もさまざまな場面で聞いたり，あるいは自分でも使ってみて相手の反応を見たりすることで，だんだんと正確な理解・使用ができるようになっていきます。このような子どもの特性を活かすために指導では，言葉の意味を「教える」よりも，子どもにとってリアルな場面を通して，言葉の意味推測を可能にするような状況をつくっていくことが重要になります。

そこでシナリオ動画では，会話の目的・文脈が明確なシナリオ，場面や動作を表すアニメーション，セリフが指すもののイラストでの表示，プロの声優による音声の使用といった工夫により，知らない言葉であっても，なるべく推測での意味理解ができるように配慮しました（図 1）。

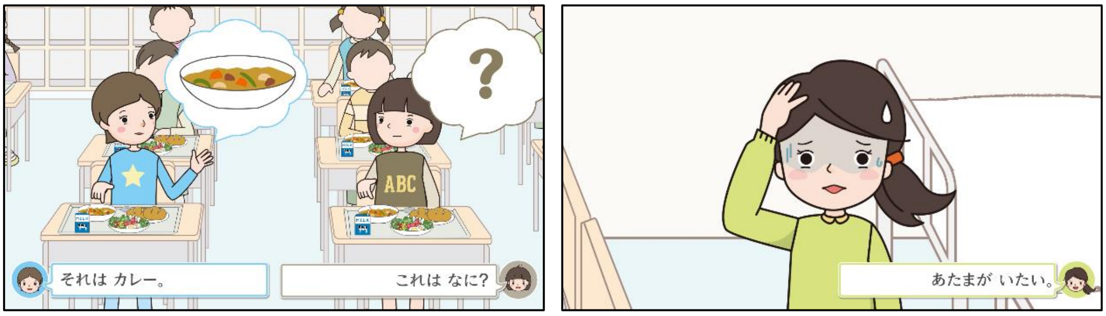

図１ シナリオ動画の一場面

シナリオ動画は 1 本 3～5 分の動画，24 本からなります。表 1 は，24 本のタイトルと，それぞれで取り上げている学習項目です。学習項目は，よく使われる表現であり，そのまま覚えると便利というもので，学習目標とは異なります。学習目標は，それぞれの場面におけるコミュニケーション上の目的を達成するために，必要な行動がとれるようになることです。例えば No. 2「きもちわるい…」であれば，「体調が悪いときにそれを教師に訴えることができる」が学習目標になります。「～がいたい」「きもちわるい」が言えるようになることは大事なのですが，これらは学習目標を達成するための手段の一つに過ぎません。学習目標を達成するには，「どんなときに」「誰に」「何を」「どのように」「どんな順番で」言えばよいかといった多くの文脈情報とともに学ばれる必要があります。 シナリオ動画は，そういったことの学習を助けるための教材です。

また，24 本の配列は難易度順になっているわけではなく，順に学ばなければならないというわけではありません。指導計画に沿って教えていく中で，各シナリオ動画が該当する内容の回に組み込んでいくのもいいでしょうし，児童生徒の現状をふまえたときに，必要と思われるものから取り上げていくのもいいでしょう。大人と違い，年齢の低い子どもほど，体系的に，積み上げ型で教えなければならないという意識をもつ必要はありません。

表１ シナリオ動画一覧

No.	タイトル	学習項目
1	はじめまして！	はじめまして／よろしくおねがいします
2	きもちわるい・・・	～がいたい／きもちわるい
3	きゅうしょく	いただきます／これはなに？／おいしい・おいしくない
4	あそぼう！	あそぼう／いいよ／ごめん／だいじょうぶ？
5	がっこうたんけん～おんがくしつ・としょしつ～	ここはなに？
6	がっこうたんけん～うんどうじょう～	これはなに？／すごい／できる・できない
7	わたしの　いちにち	おきます／たべます／（がっこうに）いきます／べんきょうします／かえります／（おふろに）はいります／ねます
8	にほんごがわからない	わかりません／もういっかいおねがいします／～ほん（ぽん・ぼん）
9	かして	かして／ありがとう
10	いいですか？	～てもいい（ですか）？
11	じかんわり	つぎはなに？／どこで？
12	なんさい？	だれ？／なんさい？
13	おとしもの	だれの？／わたしの
14	とうげこう	みぎ／ひだり／まって／みて／すすんで
15	じゅぎょう	わすれました／だして／みて／ひらいて／たって／よんで／きいて
16	そうじ	はいて／ふいて／そうじして
17	なにがすき？～くだもの・どうぶつ～	すき／すきじゃない
18	しょくいんしつに　いく	しつれいします／～はいますか？／います・いません
19	ごめんなさい	ごめんなさい／だめ
20	あめ	ある・ない
21	なにがすき？～のりもの～	～ってなに？／どうして？／～から（理由）
22	なんにん？	なんにんですか？／ひとり・ふたり・さんにん・よにん・ごにん
23	りょうり	とって
24	やくそく	なんようび？／なんじ？／どこで？

(2) 活用方法

サバイバル日本語の学習目標は，動画を見せるだけで達成されるわけではありません。動画はあくまで学習をサポートする教材であり，学習目標を達成するためには，対面での指導が不可欠です。それを前提に，シナリオ動画の活用方法について解説します。

シナリオ動画での 1 本のシナリオは，ストレスなく繰り返し視聴できるよう，長いものでも 1 分程度としてあります。ですが，ただ見ているだけでは身につかないので，表 2 の通り，字幕と音声の有無を変え，同じシナリオを 4 回流すことで，言語習得に必要な複数の側面に注意が向けられるようにしてあります。

表 2 シナリオ動画の音声・字幕の有無

	音声	字幕（テロップ）
1 回目（みてみよう①）	○	×
2 回目（みてみよう②）	○	○
3 回目（いってみよう①）	×	○
4 回目（いってみよう②）	○（学習項目のみ×）	×

1 回目は音声のみなので「見て／聞いて意味を推測する」ことに，2 回目は音声と字幕がともにあるので「音声を文字と一致させる」ことに，3 回目は字幕のみなので「文字を読む」ことに，4 回目は学習項目だけが音声なしなので「学習項目を言う」ことに注意が向けられます。最後に，「もういちど いってみよう」で，一覧表示された学習項目を確認します。こうすることで，言葉の意味と音声，文字をつなげながらインプットとアウトプットのどちらも行うことができます。

ただし，シナリオ動画の中でも，No. 2，7，14，15 は 3 回目，4 回目は設けておらず，その代わりに「れんしゅうしよう」が設けてあります。No. 2 は学習項目である「～がいたい」を，No. 7 はいくつかの動詞（「～ます」）を，当てはめる言葉を変え，繰り返し言う練習を重視したためです。No. 14，15 の場合，学習項目の表現は主に教師が使う言葉であって，児童生徒はさしあたって聞いて理解，反応することができれば十分だからです。「れんしゅうしよう」自体は短いものなので，指導者が同様の練習を，ゲーム感覚で，言葉を変えて繰り返し行うとよいでしょう。

シナリオ動画の字幕はすべて仮名表記です。したがって，既に仮名が読めるようになっていることが前提となりますが，日本に来たばかりの子どもは，さしあたって音声のみで学習するのもいいでしょうし，あるいは仮名学習と並行して行うことで，音声と仮名の一致を促すことにも利用できます。

各シナリオ動画で使われている語彙は，なるべく語彙学習動画にも含めるようにしました。したがって，シナリオ動画を見る前後に語彙学習動画で語彙を学ぶことで，相互に学習を強化することができます。

3 語彙動画

(1) 内容

語彙動画では，日常生活・学校生活で必要になる名詞語彙の中から，優先度が高いと思われものを，カテゴリー別に取り上げました（表 3）。語彙の逆検索もできるよう，別ファイルで語彙リストも作成してあるので，必要であればダウンロードしてご利用ください。

品詞別でもっとも大きな使用割合を占める名詞ですが，初期指導段階で学ぶ名詞は物の名前が大半なので，すべての語彙をイラストで表しています（図 2）。

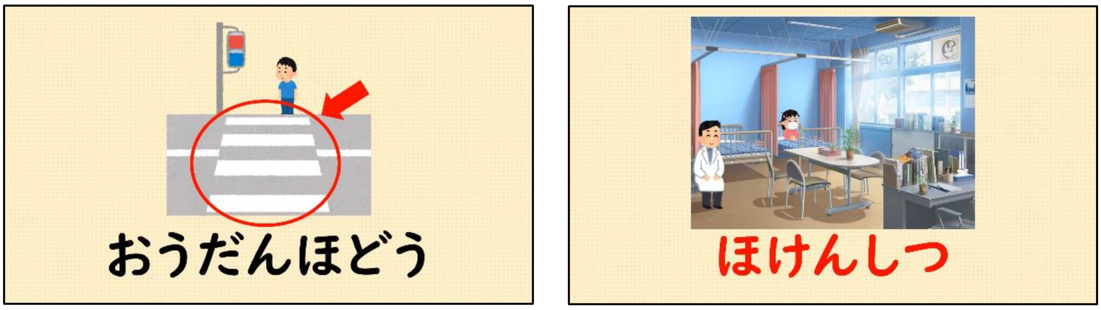

図 2 語彙学習動画の一場面

語彙動画 58 本で取り上げられている語彙は計 713 語です。日本語環境で生まれ育った子どもの場合，12 歳でおよそ 3 万の語彙が理解できるとされており，本動画で学べる語彙は，小・中学生が学ぶべき語彙の一部に過ぎないことがわかります。しかも，今回扱っている語彙は名詞のみなので，当然のことながら，動詞や形容詞なども学んでいく必要があります。とはいえ，語彙学習は継続的に行っていく必要があるので，物の名前を楽しく覚えることから始めてもらうことにより，今後の学習にはずみをつけてもらえればと思います。

(2) 活用方法

語彙学習動画は，「いえるかな」と「ぜんぶいえるかな」から構成されています。「いえるかな」では，単語のイラストを提示した後，単語名を文字と音声で示します。「ぜんぶいえるかな」では，全ての単語のイラストを一度に示すことで，すべて言えるかどうかを試せます。

語彙を教える際に気をつけるべきことは，物を見て名前が言えるようになるだけでは，その単語を習得したとは言えないという点です。語彙を習得するには，「語形」「意味」「使

用」に関する知識を獲得する必要があります。つまり，物を見て名前が言えるからといって，その単語を聞いたときも何のことか即座にわかるとは限りませんし，正しく言えて正しく聞き取れたとしても，読んでわかるかどうか，正しいつづりで書けるかどうかも別問題です。また，単語だけ言えても，その単語が会話や作文で必要なときに適切に使えるかどうかもわかりません。本動画の仕様でできることは，物を見て名前が言えるかどうかだけなので，他のこともできるかどうかを考慮した指導を行う必要があります。

たとえば，全てのイラストが表示される「ぜんぶいえるかな」で一時停止し，指導者がランダムに単語を言い，どのイラストかを当てさせることで，聞いてわかるかどうかを試すことができます。あるいは，「ぜんぶいえるかな」でランダムにイラストを指し，あるいは単語の音声を聞かせて，それを書き取らせることもできます。さらに，学んだ語彙は，その後の指導の中で繰り返し触れる機会，使う機会を設けることが有効です。シナリオ動画の中にも，語彙学習動画で取り上げた単語はなるべく含めるようにしてあります。

また，母語を読み書きから習得する人はいないのと同じように，子どもの日本語習得も，音声での学習が土台となります。仮名がまだ十分に読めない段階でも，シナリオ動画と同様に，語彙学習動画を用いて学習することは可能ですし，むしろ，仮名の学習に本動画を利用することもできます。仮名学習を行う際に，50 音表を前に一音ずつ単独で学ぶような方法は，子どもにとって意味が感じられにくい学び方です。語彙学習を通して仮名を学ぶ方法であれば，物の名前を知るという，意味の感じられやすい経験を通して，音と文字を一致させながら学ぶことができます。

表 3 語彙学習動画一覧

No.	カテゴリー		**語彙**（動画内では仮名で表記）
1	かお	①	目，まつ毛，まゆ毛，耳，鼻，口，唇，舌，歯，顔，髪
		②	前髪，おでこ，ほっぺた，耳たぶ，あご，前歯，奥歯，歯ぐき，虫歯，ひげ，しわ
2	からだ	①	頭，体，首，肩，胸，お腹，腕，ひじ，手，指，ひざ，足，背中，お尻
		②	喉，わき，へそ，手首，手の平，爪，腰，太もも，ふくらはぎ，足首，かかと，つま先
		③	裸，親指，人差し指，中指，薬指，小指，筋肉，骨，血，汗，毛
		④	アレルギー，風邪，咳，くしゃみ，鼻水，鼻血，下痢，病気，骨折，火傷，けが
3	たべもの・のみもの	①	りんご，みかん，バナナ，果物，キャベツ，トマト，にんじん，野菜，肉，魚，パン，ごはん，牛乳，水
		②	メロン，パイナップル，ブドウ，イチゴ，モモ，サクランボ，スイカ，ナシ，レモン，カキ，クリ
		③	ピーマン，レタス，キュウリ，ホウレンソウ，カボチャ，ジャガイモ，サツマイモ，ダイコン，タマネギ，ネギ，ナス，トウモロコシ，マメ
		④	朝ごはん，昼ごはん，晩ごはん，給食，おにぎり，ハンバーガー，ポテト，サンドイッチ，ハム，玉子，食パン，ラーメン，うどん，カレー，ハンバーグ

		⑤	寿司, 天ぷら, 天丼, カツ丼, 牛丼, そば, 焼きそば, 餃子, 納豆, 味噌汁, スープ, サラダ
		⑥	チーズ, バター, ヨーグルト, ケーキ, プリン, アイス, ジュース, クッキー, ガム, アメ, ドーナツ, チョコレート, お菓子
4	うんどう・あそび	①	サッカー, 野球, バスケ, ボール, マラソン, リレー, ダンス, 水泳, 縄跳び, 跳び箱, 鉄棒, 一輪車
		②	ゴルフ, テニス, バレー, ラグビー, 卓球, バドミントン, ドッジボール, スキー, スケート, 柔道, 剣道, スポーツ
		③	ブランコ, すべり台, うんてい, シーソー, ジャングルジム, ジャンケン, おにごっこ, かくれんぼ, 映画, アニメ, おしゃべり, ゲーム, トランプ
5	がっこう	①	学校, 教室, 職員室, 保健室, 理科室, 音楽室, 図書室, 廊下, トイレ, 手洗い場, 体育館, 運動場, プール
		②	ピアノ, リコーダー, ハーモニカ, 鍵盤ハーモニカ, トランペット, ドラム, ギター, バイオリン, カスタネット, タンバリン, シンバル, 楽器
6	いきもの	①	犬, 猫, ネズミ, うさぎ, きつね, たぬき, 猿, 猪, 熊, 牛, 豚, 鳥, 動物
		②	鹿, パンダ, コアラ, カンガルー, 象, キリン, ライオン, 虎, 馬, シマウマ, 羊, 山羊, ゴリラ, リス
		③	トンボ, チョウチョ, ハチ, セミ, カブトムシ, クワガタ, テントウムシ, アリ, カマキリ, バッタ, コオロギ, ハエ, 昆虫
		④	カメ, タコ, イカ, エビ, カニ, サメ, イルカ, クジラ, ペンギン, アザラシ, シロクマ, ラッコ
		⑤	ニワトリ, ヒヨコ, スズメ, カラス, カタツムリ, ダンゴムシ, ヘビ, カ, クモ, キンギョ, メダカ, オタマジャクシ, カエル, ザリガニ
7	しぜん	①	海, 空, 雲, 太陽, 月, 星, 雨, 雷, 風, 山, 木, 森, 川
		②	天気, 晴れ, 曇り, 雪, 台風, 霧, 虹, 波, 津波, 洪水, 地震, 火事
		③	タンポポ, チューリップ, ヒマワリ, アサガオ, バラ, コスモス, 花, 草, サクラ, イチョウ, モミジ, タケ, ヘチマ
		④	葉っぱ, 実m, 茎, 根っこ, 土, 林, 枝, どんぐり, 松ぼっくり, 畑, 池, 田んぼ, 稲, 米
8	いろ		白, 黒, 赤, 青, 水色, 緑, 紫, ピンク, オレンジ, 黄色, 茶色, 灰色
9	ひと	①	お母さん, お父さん, 赤ちゃん, おばあさん, おじいさん, お姉さん, 妹, お兄さん, 弟, 家族
		②	友達, 先生, 女の子, 男の子, おばさん, おじさん, 大人, 子供, 小学生, 中学生, 高校生, 大学生
		③	会社員, 医者, 看護師, 警察官, 消防士, パイロット, 芸能人, ユーチューバー, ミュージシャン, スポーツ選手, 美容師, 政治家
10	きょうしつのなか	①	机, 椅子, 黒板, 時計, 電気, テレビ, 窓, ドア, 水道, 掃除, 雑巾, ほうき, ちりとり
		②	スイッチ, カーテン, 本棚, 本, 引き出し, チョーク, 黒板消し, 電子黒板, ゴミ箱, 花瓶, ロッカー, モップ
11	もちもの	①	ランドセル, 鞄, 傘, 水筒, 筆箱, 鉛筆, 色鉛筆, 消しゴム, 教科書, ノート, プリント, パソコン, タブレット

		②	ペン, 赤ペン, シャーペン, ボールペン, マジック, 物差し, 三角定規, 分度器, コンパス, 下敷き, はさみ, のり, セロテープ, 文房具
		③	ホッチキス, 画びょう, カッター, 折り紙, 筆, 絵の具, 画用紙, 習字道具, 辞書, 財布, お金, スマホ
12	ふく	①	制服, 水着, 体操服, 給食着, 帽子, 眼鏡, シャツ, ズボン, スカート, パンツ, 靴下, 靴
		②	ヘルメット, マスク, マフラー, 手袋, カッパ, コート, エプロン, ベルト, ポケット, 上履き, 運動靴, サンダル, 長靴
13	こうつう	①	電車, 新幹線, バス, 自転車, 車, トラック, 道路, 交差点, 横断歩道, 信号, 踏切, 歩道橋
		②	ヘリコプター, バイク, パトカー, 消防車, 救急車, タクシー, 飛行機, 空港, 地下鉄, 橋, 歩道, 車道, 駐車場, バス停
		③	ゴミ収集車, クレーン車, ミキサー車, レッカー車, ダンプカー, ショベルカー, ブルドーザー, フェリー, ボート, ヨット, 船, 港, 灯台
14	たてもの	①	家, ビル, スーパー, コンビニ, レストラン, 公園, 病院, 交番, 駅, アパート, 団地
		②	散髪屋, パン屋, 八百屋, 肉屋, 魚屋, 本屋, 薬屋, お店, 廃車, 銀行, 郵便局, ポスト
		③	教会, お寺, 神社, 工場, 遊園地, 動物園, 水族館, 美術館, 博物館, マンション, 屋上, 階段, エスカレーター, エレベーター
15	いえのなか	①	玄関, キッチン, ベランダ, ベッド, 布団, 枕, お風呂, シャワー, 床, 掃除機, テーブル, ソファ, ハンガー
		②	屋根, 部屋, 天井, 壁, 畳, 扇風機, ストーブ, エアコン, コンセント, リモコン, 電話, カメラ, 洗濯機, 物干し竿
		③	洗面台, 鏡, 石鹸, タオル, 歯ブラシ, スリッパ, トイレットペーパー, ティッシュ, 鍵, カレンダー, 新聞, チラシ, 雑誌, マンガ
16	キッチン	①	食器, お皿, 茶碗, コップ, 箸, スプーン, フォーク, コンロ, フライパン, 鍋, 炊飯器, 冷蔵庫, レンジ
		②	マヨネーズ, ケチャップ, ソース, 醤油, 塩, 砂糖, 氷, 布巾, ペットボトル, 蓋, プラスチック, 瓶, 缶, ゴミ
17	かず		0-10, 11-20, 百, 千, 1万, 10 万, 100 万, 1000 万, 1 億
18	かぞえかた	①	(1-10)人, (1-10)匹
		②	(1-10)個, (1-10)本
		③	(1-10)冊, (1-10)枚
19	イベント		誕生日, プレゼント, 旅行, キャンプ, テント, 遠足, お弁当, 修学旅行, 運動会, 入学式, 卒業式
20	いち・ほうこう		上, 下, 左, 右, 前, 後ろ, 中, 外, 縦, 横, 斜め, 真っすぐ
21	つき		(1-12)月, 春, 夏, 秋, 冬
22	ひ		(1-10, 14, 19, 20, 24, 29)日
23	ようび		(日~土)曜日, 一週間
24	じかん		(1-12)時, ~時(10, 20, 40, 50)分, ~時半, 朝, 昼, 夕方, 夜

(3) 語彙カード

語彙学習教材については，語彙動画と同じ語彙を取り上げた語彙カードも製作してあります。動画は動画で利点はありますが，提示したい単語をすぐに提示するとか，提示の順番を操作するといった柔軟な扱い方ができる点は，カードに分があります。

語彙カードは，図 3 のように左半分がイラスト，右半分が単語名になっています。語彙カードのデータをダウンロードできるので，これを任意の用紙サイズで印刷したものを半分折りにし，必要であれば厚紙などに貼り付けることで，語彙カードを作成することができます。イラストは，語彙動画で使っているものと同じイラストを用いています。単語名は，仮名表記と，中学までに習う常用漢字であれば，漢字表記も併記してあります。カードの右上にある通し番号は，すべて語彙動画と対応しており，どのカードがどの動画に，どの順で登場するのか，すぐにわかるようになっています。

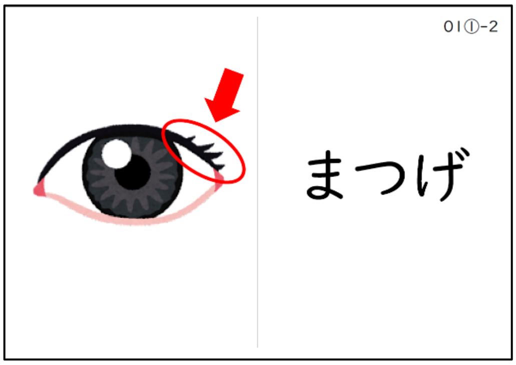

図 3 語彙カード

語彙カードの使い方としては，通常の絵カードのようにイラストを提示して，語彙名を答えさせることができますが，カードの利点を活かして，まだ言えない単語だけ取り上げることもできますし，複数のカードを使ってカルタ取りを行うこともできます。語彙動画と語彙カードは，学習の目的や方法によって使い分けていただければと思います。

以上，シナリオ動画，語彙学習動画について解説しましたが，これらは対面での指導とオンラインでの指導に加え，子どもの自宅学習にも用いやすいという利点があります。そのため，学期中だけでなく，夏休みなど，対面指導のできない期間が生じたときの学習教材として利用することもできます。

2022 年 3 月 15 日
2023 年 2 月 19 日 改訂
岡崎 渉